

報告事項 5

平成28年度英語能力判定テスト結果について

学校教育課

平成28年度英語能力判定テスト結果について

1. 実施の趣旨

国が進める「生徒の英語力向上推進プラン」において、中・高・大学での英語力評価及び入学者選抜における4技能を測定する民間の資格・検定試験の活用促進が図られるなか、生徒自身が自己の英語力を技能別に把握するとともに、生徒の英語力について現状把握と課題分析を行い、各学校における指導改善を促し、本県生徒の英語力向上を図る。

2. 実施の内容

- 受験生徒 県内公立中学校1～2年生、高等学校1～2年生
○使用問題 英検IBA（B～Fの全5タイプ）
- ・リーディング問題とリスニング問題（2技能）
 - ・習熟度に合わせて学年、学校で問題タイプを選択
- （中1生はFタイプ（5級レベル）選択
中2生はEタイプ（4～5級レベル）選択
高1生はB（2～3級）～Dタイプ（3～5級）から学校単位で選択
高2生はB、Cタイプ（準2～4級）から学校単位で選択）
- 実施時期 平成28年11月7日（月）～11日（金）の期間内
※高2生のみ7月に実施

3. 結果の概要

(1) 英検級レベルで見る英語力

中1生	英検5級レベル ⇒ 69%
中2生	英検4級レベル ⇒ 53%
高1生	英検3級レベル ⇒ 60%
高2生	英検準2級レベル ⇒ 36%

(2) 問題分野別正答率で見る英語力 ※「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の3つの分野

	「語い・熟語・文法」	「読解」	「リスニング」
中1生	63	54	81
中2生	82	74	77
高1生	53	57	56
高2生	44	52	50

※数値は%

4. 結果の分析

- 中1生・・・小5からの「外国語活動」での取組により、「聞く力」が高い
- 中2生・・・学習指導要領の目標に沿って、バランスのとれた英語力を習得
- 高1生・・・英検3級（中学校卒業程度）未満が40%
- 高2生・・・学力差が拡大（準2級以上36%、3級未満30%）
英検準1級（大学中級レベル）が17名

【参考】設定目標（H29末）

- 中学校卒業時点：英検3級程度以上の割合55%
- 高等学校卒業時点：英検準2級程度以上の割合55%

☆国の設定目標（H29末） 中学校卒業時点：英検3級程度以上の割合50%
高等学校卒業時点：英検準2級程度以上の割合50%